



なばり

2012年(平成24年) 7月22日発行

主な内容

- ②……市の仕事を評価。公開ヒアリングにお越しくさださい
- ③……ひまわり、かがやき催物、リバーナホール催物
- ④……二次救急実施病院、夏休みに予防接種を済ませましよう

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp

8月6日(月)午前10時オープン とれたたて名張交流館

お買い上げいただいた先着300人に
「伊賀米コシヒカリ」
プレゼント

新鮮な農産物など地場産品の販売や、地域福祉にかかわる交流の場となる「とれたたて名張交流館」が、温浴施設に併設して8月6日(月)にオープンします。

12月まで、地場産品フェアや県内外の物産販売などのイベントも計画していますので、ご期待ください。

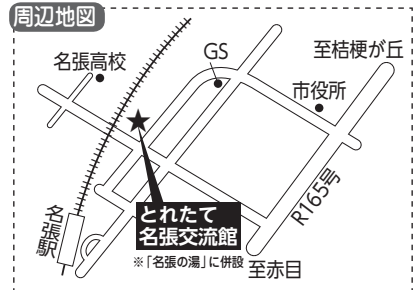
今号では、「とれたたて名張交流館」の魅力や期待することなどを店長の小山義一さんと、障害者の就労支援などを行う池上祥二さんにお話を伺いました。

☎ とれたたて名張交流館 ☎ 62-1755



- 営業時間** 午前10時～午後6時
※ 年末年始(12月29日～1月3日)を除く
- 場所** 希中央2-77-1(温浴施設「癒しの里 名張の湯」に併設)
- 販売品** ▼地産野菜 ▼農産物加工品
▼果物 ▼工芸品 ▼パン
▼花き ▼地酒 ▼名張の銘菓
▼おみやげもの など
※ マイバッグをご持参ください。

- 運営主体** とれたたて名張交流館運営協議会(名張商工会議所、伊賀南部農業協同組合、名張市社会福祉協議会、(株)名張市観光協会、名張市物産振興会と名張市の6団体で組織)
- アクセス** 名張駅から徒歩約10分。
市街地循環型コミュニティバス「ナッキー号」、「ほっとバス錦」が乗り入れます。(バス停 名張の湯・とれたたて名張交流館)
※ 詳しくは4ページをご覧ください。



地産野菜や特産品を販売。ぜひお越しくさださい



とれたたて名張交流館
店長 小山 義一さん

「とれたたて名張交流館」では、地元の農家の皆さんが愛情を込めて作った旬の野菜や、農産物の加工品などを販売します。販売品には、生産者の名前が入ったシールを貼りますので、皆さんに安心して食べていただけるのではないでしようか。

また、農家の皆さんだけでなく、名張商工会議所や名張市物産振興会、名張市観光協会、名張市社会福祉協議会の会員の中からも出荷者として登録いただいています。名張の銘菓や、おみやげものなど特産品も販売しますので楽しみにしてください。現在、約100人が出荷者として登録いただいています。オープン後も、随時出荷者を募集し、より魅力ある施設にしていきたいと考えています。

併設している温浴施設を訪れたあとに立ち寄っていただくなど、市民の皆さんのお越しをお待ちしております。

障害者と健常者との触れ合いの場になれば

障害者の皆さんが将来就労を目指したり、日中活動や創作活動行ったりする「障害者就労サービス事業所」や「生活介護事業所」が市内には複数あります。各事業所では、企業から請け負っている作業やパン・クッキー作り、工芸品などの制作を行っています。

創作活動で生み出された作品の販売先はまだ限定的で、市民の皆さんに知っていただける機会が無いのが現状です。「とれたたて名張交流館」での販売により、多くの人に障害者の皆さんが携わった商品や作品に触れていただくこと、そして、障害者の皆さんとお客様や他の出荷者の皆さんとの交流が深まることを期待しています。

障害者の社会参画がまだまだ進んでいない現状ですが、「とれたたて名張交流館」が障害者と健常者との触れ合いの場として、地域のコミュニティになることを期待しています。



名張市自立支援協議会
就労事業所部会
部会長 池上 祥二さん